北図書館だより2月号

ほうれんそう



《新・尼崎の本棚 132》

令和7年(2025)第488号

尼崎市立北図書館 尼崎市南武庫之荘3-21-21 TEL(06)6438-7322 FAX(06)6438-7344 https://www.amagasaki-library.jp/

江戸時代の民家を偲ぶ 旧小阪家住宅

尼崎南部は旧尼崎藩の城下町を中心に発達し、新田開発地が阪神工業地帯となりました。中部はJR東海道線を挟んで工場群と住宅地に、北部農村地域は電鉄開通により宅地開発が進められました。戦災や震災を経た時代変遷で、町屋や民家の数は少なくなりましたが、その佇まいを感じるまちなみもわずかながら残っています。

市では、まちの美しさを形作る上で、地域の景観や雰囲気を特徴づけるもの、歴史的・建築的価値をもつもの、市民に愛され親しまれているものを、都市美形成建築物として指定しています。更に「尼崎まちかどチャーミング賞」を設け、まちの景観に貢献している建物や活動を表彰しています。この事業は1986(昭和61)年に第1回が開催されて以降、2021(令和3)年までに10回実施され、まちなみの魅力を発信しています。

公共建築や産業遺産は実際に利用されるなど人目に触れる機会がありますが、民家や個人邸は日常風景に溶け込んでいます。今回は県立公園内で公開されている旧小阪家住宅を紹介します。この住宅は1995(平成7)年まで、芦屋市三条町にあった農家で、この地域は江戸時代に尼崎藩領三条村でした。現建物は18世紀後期かそれ以降に建てられた可能性があり、阪神・淡路大震災で大きく損壊し、解体を余儀なくされました。その後移築保存を前提として解体調査が実施され、2016(平成28)年に兵庫県立尼崎の森中央緑地に、里山の暮らし体験ができる施設として昭和10年頃の姿に移築復元されました。かまどや五右衛門風呂などが設置され、かまどは公園の森づくりで出る間伐材で火入れをしています。冷え込むこの季節、火のあるむかしの暮らしをちょっと体験してみてはいかがでしょうか。

(「兵庫県文化財調査報告書 平成29年度~」兵庫県教育委員会/編集・出版「尼崎のふるさと まちに残る美」 尼崎市都市美形成建築物所有者ネット研究会・松琴会/編集・出版)

●民家に関する本●

『屋根のうえのバトンリレー』 横塚眞己人/著

『しらかわのみんか 新装版』 島田アツヒト/文・絵 川島宙次/監修 小峰書店

『図説民俗建築大事典』 日本民俗建築学会/編

ほるぶ出版 221989432

221313954

柏書房 230267776

<図書館の休館日> 開館時間 午前9時~午後8時(日曜・祝日は、午後5時15分まで)

2月

27							
日	月	火	水	木	金	土	
						ı	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	1	12	13	14	15	
<u>(6)</u>	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28		

印の日はお休みです

3月

0 /1							
日	月	火	水	木	金	土	
						-	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
<u>(6)</u>	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31						

二月:如月

「衣更着」とも書く。寒いので衣服をたくさん重ね着するという意味。 別名:梅見月、木芽月、雪解月 行事:節分、立春、初午、針供養、春一番、バレンタインデー 田遊び:稲が収穫できるまでを演じ豊

たちばなウェルカムパーティ出張おはなし会

【日時】2月2日(日)午前10時30分~午前11時

【場所】立花南生涯学習プラザ

【対象】どなたでも

【申込】不要

立花南生涯学習プラザで行われるイベントに北図書館も参加します。 大きい絵本を使った出張おはなし会です。ぜひ遊びに来てくださいね♪

おはなし会だよ!全員集合

【日 時】2月8日(土) 午後2時~午後3時

【場所】3階集会室

【対象】どなたでも

【定員】70名程度

【申込】不要

子どもから大人まで楽しめる、絵本を使わずに語り聞かせるおはなし会です。 語り手はボランティアグループ「ひまわりの会」の皆さんです。 当日は直接会場にお越しください。

大人の図書館ツアー

【日 時】2月22日(土) ①午前10時~午前10時45分 ②午前11時~午前11時45分

【場 所】 北図書館 館内

【対象】中学生以上

【定員】先着20名(各回10名)

【申 込】2月6日(木)~ 1階カウンター、または電話にて受付

普段は入ることができない書庫などを図書館スタッフがご案内します。 また、セルフ貸出機とシール印刷機の利用方法も説明します。





<2月展示のご案内>

一般大展示「こんなところに兵庫県」 2階展示 「室町さんぽ ~落第忍者乱太郎を手がかりに~」



大人のための朗読会

【日 時】 2月19日(水) 午後2時から1時間ほど

【場 所】 3階 集会室

【内 容】『アラスカたんけん記』星野 道夫/文・写真『ひと粒のチョコレートに』佐藤 清隆/文

junaida/絵

朗読はボランティア「ま・どんな」のみなさんです。

※状況により、内容の変更・中止になる可能性があります。

++ m >\ ut =

[むらたさやか] 1979年~千葉県生まれ。『授乳』で群像新人文芸賞優秀作受賞。『ギンイロノウタ』で野間文芸新人賞、『しろいろの街の、その骨の体温の』で三島由紀夫賞受賞。『コンビニ人間』で芥川賞受賞。

『しろいろの街の、その骨の体温の』 村田 沙耶香[著]/朝日新聞出版

夏・冬の長い休みの度に、多くの転校生がやってくるニュータウンに暮らす小学生の結佳。同じ習字教室に通う伊吹陽太と帰り道で一緒になり、話をしたことで仲良くなるが……。小学生の女の子から思春期の少女へと変化していく姿を丁寧に描いた書き下ろし小説。

『信仰』

村田 沙耶香[著]/文藝春秋

地元の同級生だった石毛と斉川から、カルト商法の勧誘を受けた永岡ミキ。子どもの頃から現実主義で、好きな言葉は「原価いくら?」のミキだったが、考えた末に斉川の誘いを受け……。表題作ほか、『文學界』等の掲載を加筆、単行本化した短編・エッセイ集。

『きれいなシワの作り方』 村田 沙耶香[著]/マガジンハウス

30歳を過ぎた頃から、初めての皺に初めての白髪など、様々な体・心の変化を体験した著者。思春期のあの頃のような、変化する身体と心の「今」だからこそ書ける言葉を集めた、大人の女ならではのあれこれがつまった初エッセイ集。『anan』連載を単行本化。

『ぼくのポーポがこいをした』 村田 沙耶香[作]・米増 由香 [絵]・ 瀧井 朝世 [編] /岩崎書店

日曜日、ぼくのおばあちゃんがぬいぐるみのポーポと結婚する。ぼくがサンタさんにもらったポーポなのに。おばあちゃんは人間だし、ポーポはぬいぐるみだ。ぼくは反対したけれど、大賛成のおかあさんたちは準備をどんどん進めていって……。

C. WAS

【小学1~2年生から】

玉川大学文学部卒業。2003年に『授乳』で群像新人文学賞(小説部門・優秀作)を受賞してデビュー。小説の執筆の為にコンビニエンスストアでアルバイトをしたことがあるなど、ユニークな作家である。『地球星人』『生命式』『変半身(かわりみ)』『丸の内魔法少女ミラクリーナ』『絶縁』など著書多数。

児童室





第1·第2·第3 土曜日 場所:3階集会室

おひざ (0~2さい くらい) 午後2:00~ 小さい人 (3~5さい くらい) 午後2:15~ 大きい人 (小学校低学年) 午後2:40~

2 ∕ 1 (土) ●おひざのうえ 「ひょうたんころころ」 「もりのおふろ」

〇小さい人 「しんせつなともだち」 「おおかみと七ひきの子やぎ」

◎大きい人 「ゆうかんなアイリーン」 「豆の上に寝たお姫さま」 2/8(土)

「おはなし会だよ!全員集合」 14時~15時 3階集会室にて 先着70名



2/15(土) ●おひざのうえ 「ころころこーろころ」 「やまのおふろやさん」

〇小さい人 「まゆとおおきなケーキ」 「マーシャとくま」

> ◎大きい人 「ゆきがふるよ ねこがいるよ」 「ふるやのもり」



第1・第3 水曜日 あかちゃんひろば

場所: | 階絵本コーナー 2/5(水)、2/19(水) 午前11:00~11:20

0さい~2さいくらいのお子さん向け 赤ちゃん絵本、わらべうた、手遊びなど

第2·第4 日曜日

場所: | 階ロビー2さいくらいから 2/9(日)、2/23(日) 午前11:00~11:20

季節の絵本や紙芝居など

2025 年 2 月





『ふゆのほん』

Ħ	月	火	水	木	金	±
						1
2	3 休館日	4	5 ₩	6	7	8
<mark>9</mark>	10 休館日	11	12	13	14	15 ©
16	17 休館日	18	19 😸	20	21	22
23	24	25 休館日	26	27 休館日	28	

※ 🗓 日・祝日は、午後5時 | 5分まで